

【切手デザイン】



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。  
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。



(表面)



## 羽田空港 国際線旅客ターミナル



### 江戶小路

ガラスを多用したモダンな建築空間から見上げると、庭には大きな「江戸橋」がシンボリックに立ち、瓦屋根の日本建築に暖簾や提灯が下がる街並みが広がります。江戸風情あふれる店舗には創業100年を超える老舗の逸品から、匠の技を今に活かしたアイテムが勢揃い。お食事は和食だけでなく、中華、洋食など幅広く専門店が並び、日本の多様な食文化をお楽しみいただけます。

### はねだ日本橋

～旅立ちの昔も今も日本橋～  
「はねだ日本橋」は、吉野産の総檜造りで、当時の日本橋の幅・長さともおよそ半分のサイズで再現しています。かつて旅の起点であった「日本橋」に見立て、現代の空の旅の出発点として是非お渡りいただき、これまでとはひと味違った旅の始まりを感じてください。



### お祭り広場

様々なイベントが催される「お祭り広場」には、シンボルとなる「山車」があり、お祭りの雰囲気を感じ上げます。ターミナル出発階を見下ろせる開放的な空間で、お客様の休憩場所としてもゆったりとご利用いただけます。

### フライトシミュレーター

TIAT Sky Roadに設置された人気のフライトシミュレーター。リアルな操縦体験をお楽しみいただけます。



### 展望デッキ

都心の風景をバクッと離着陸する航空機を間近に見られる展望デッキは、正面に管制塔が見えるなど、もっとも空港らしいビューポイント。様々な航空機が見られるのも国際線ならではの、24時間開放していますので夜も心ゆくまで楽しめます。

(裏面)



## JAPAN AIRLINES

1950年代

### DC-6B

1954年2月2日、初の国際線となる東京＝サンフランシスコ線開設。第1便(JL 604便)の「City of Tokyo」号(JA6201)が、同日21時30分に東京国際空港(羽田)を出発しました。



1960年代



### DC-8-32

1960年8月、日本初のジェット旅客機DC-8「FUJI」号(JA8001)が東京＝サンフランシスコ線に就航しました。

1970年代

### BOEING747-100

BOEING747型機第1便(JA8101)は、1970年7月1日、東京国際空港(羽田)を出国し、ホルホルに飛きました。翌2日には、続いて東京＝ホルホル＝ロサンゼルス線に就航しました。



### DC-10-40

1977年4月1日、国際線仕様のDC-10型機(JA8535)が、東京(羽田)＝アンカレッジ＝ニューヨーク線に就航しました。国内線仕様のDC-10型機では主脚が2本でしたが、国際線仕様では3本(前脚を含めると4本)となりました。

1980年代

### BOEING767-300

2名の乗員で運航できる航空機です。BOEING767-300は767-200の胴体を6.4m延長したもので、国内線・近距離国際線として運航されてきました。



1990年代



### BOEING747-400

従来の747型機をベースに開発された航空機で、2名の乗員で運航可能となりました。国際線の主翼先端には、空気抵抗を減らすためにウィングレットと呼ばれる小さな翼が付いています。

2000年代

### BOEING777-200ER

航空会社と航空機メーカーが共同開発した、ハイテック双発機。快適性ととも、低燃費・低騒音を実現しました。双発機でも長距離国際線フライトが可能になりました。



2010年代



### BOEING787-8

従来の航空機と比べ燃費効率が約20%高い低騒音機です。高い天井と広い窓、快適な温度・気圧の設定、季節に合わせた機内LED照明などにより、快適な機内環境を提供しています。

### A350-900

高い燃費性能を持ち、二酸化炭素や窒素酸化物の排出を抑えた環境にも優しい中長距離路線用の航空機です。JALグループでは2019年より導入予定です。

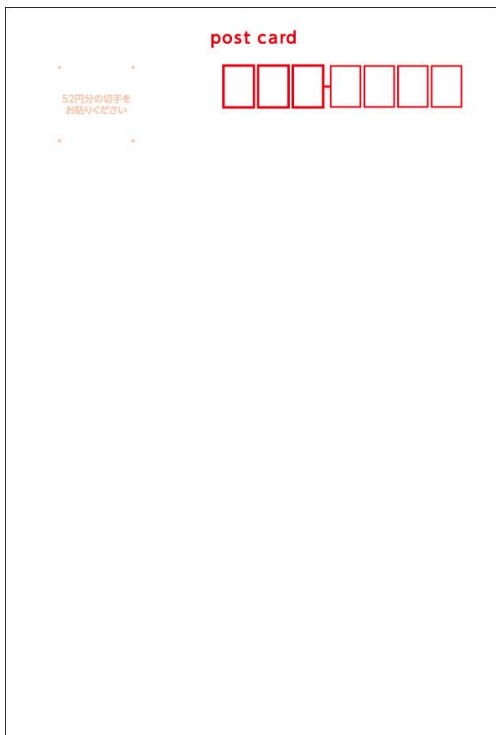


### MRJ90

最先端技術を取り入れた国産初のジェット旅客機「三菱リージョナルジェット(MRJ)」をJALグループでは、次世代のリージョナルジェット機として、2021年より導入予定です。

【通常ポストカード】

(宛名面)

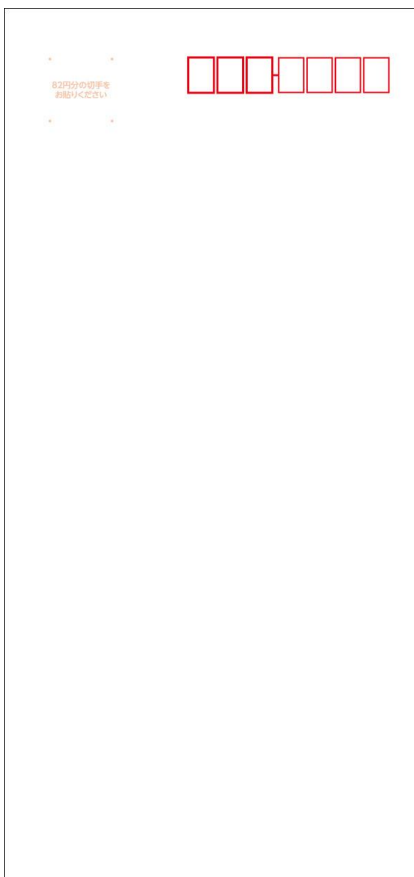


(通信面)



【特大ポストカード】

(宛名面)



(通信面)

